

科目名	現代社会の社会学 Contemporary Sociology		担当教員 (研究室番号)	浦野 茂 (503)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次 前期	科目 区分	教養・基礎科目		選択 区分	選択	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	可
											オープンクラス	可
科目 目的	私たちは社会のなかで数多くの他者とともに生きており、さまざまな経験をもっています。社会学とは、こうした私たちの経験の諸相に注目し、またそれらのなかに私たちが他者と共に生きていることから由来している帰結を見出していく知的作業のことです。この授業ではとりわけ健康や医療を中心にこのような作業を行いながら、私たち自身の経験をより広い視野から捉え返してみたいと考えています。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解）										
	関連する DP	C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。（技能・表現）										
到達 目標	医療に関連するさまざまな社会的問題について、適切な理解にもとづき根拠ある仕方で自身の意見を持つことができるようになることが、この授業の到達目標です。											
成績評価方法 (基準)		授業での報告（40%）、各授業における小レポート（15%）、期末試験（45%）による。										
再試験の有無と 基準等		再試験あり。追加レポートの提出による。										
教科書		石川ひろの・進藤雄三・山崎喜比古（編）『社会学（系統看護学講座 基礎分野）』医学書院、2012年。										
参考書等												
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待		授業は、履修者による発表とそれにもとづくディスカッションを中心に進めます。履修者には、各回の授業に先立って教科書の該当箇所目を通してきたうえでディスカッションに積極的に参加するよう、期待しています。										
備考												
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	イントロダクション				授業の進め方について説明する。また、社会学の対象と視点について説明する。				浦野	講義		
2回	ディスカッション：社会学の基礎概念				社会学の基礎概念について説明する(教科書第1章)				浦野	講義		
3回	保健医療と社会学				医療・医学と社会学の関係についてそのポイントを解説する(教科書第3章)。				浦野	講義		
4回	健康と病気と社会				医療・医学と社会学の関係についてそのポイントを解説する(教科書第3章)。				浦野	講義		
5回	健康・病気の社会格差				社会階層と健康・病気との関係について理解する（教科書第6章）。				浦野	講義		
6回	ディスカッション：健康・病気の社会格差				映像視聴とディスカッションを通じ、健康・病気の社会格差の問題とそれに対処するための社会的仕組みについて理解する。□				浦野	講義		
7回	労働と健康				労働を取り巻く社会的状況とその変化について、とくに健康・病気との関わりを焦点にして、説明する（教科書第7章）。				浦野	講義 演習		
8回	健康行動・病気行動・病いの経験				健康と病気をめぐって人びとがとる行動様式と経験について理解する（教科書第8章）。				浦野	講義		
9回	患者-医療者関係				患者－医療者間関係をめぐるあり方について、その変遷を踏まえながら現在における課題を理解する（教科書第9章）				浦野	講義		
10回	ディスカッション：患者-医療者関係				資料の読解とディスカッションを通じ、患者－医療者間関係の特徴と問題、それらの社会的背景について考察する。				浦野	講義		
11回	性・ジェンダー・家族と保健医療				性をめぐる社会的関係とその社会的課題について、カップルと結婚、家族、出産育児に焦点をあてながら検討する（教科書第11章）				浦野	講義		
12回	ディスカッション：性・ジェンダー・家族と保健医療				資料読解とディスカッションを通じ、性別をめぐる社会的課題について理解する。				浦野	講義 演習		
13回	地域社会と保健医療				社会関係資本（ソーシャルキャピタル）の概念を中心に、健康・病気・保健医療と地域社会との関係について理解する（教科書第12章）。				浦野	講義		
14回	保健医療制度				保健医療制度とその課題について理解するとともに、その前提となる福祉国家の理念について理解する（教科書第13章）。				浦野	講義		
15回	まとめ				ディスカッションを通じ、自身のこれまでの生活やこれからの課題について、社会学の概念によって考える。				浦野	講義		

学 習 課 題

各回の授業に先立ち、教科書の指定箇所に目を通し、関連する経験や問題をまとめておくこと。

各回の授業時間後、授業内容について的小レポートを作成・提出すること。

実務経験を活かした教育の取組